

語学研修 体験報告書

参加プログラム名	2022 年度 春期ディーンキンプログラム	研修先の国名	オーストラリア	所属学科	英語英文学科
研修時の学年	3 年	研修期間(○年○月～○週間)	2023年2月7日～3月12日	記入年月日	2023年10月2日

①研修内容(授業や研修先)について特に印象に残った事

留学に行く前の冬休みに、オンラインのクラス分けテストがありました。テストの内容は、テーマを与えられてそれに関する英作文を書くというものでした。

テストの結果により、私は上から 2 番目の G6 というクラスに割り振られたのですが、そのクラスは日本人しかいないクラスで、先生だけが外国人でした。クラスの雰囲気は日本の学校という感じで、授業の内容も実力に物足りないと感じたため、2 日目の授業終了後に、先生にクラスの変更をお願いしました。先生に、「クラスの変更は私の上司の判断なので、今日中に自己推薦書を書いてくるように」と言われたので、その日のうちに書き上げ提出し、3 日目の午後から一番上のクラスの G7 で授業を受けました。

G6 と G7 にはかなり大きな差があると感じました。G7 は 11 人いて、うち 4 人がコロンビア人でした。授業はすべて英語で、先生が日本人のみのグループができないようにグループ分けを常に配慮してくださったので、日本人同士でも授業中に日本語を話す機会はありませんでした。コロンビア人の友達のおかげで、オーストラリア以外の国の文化を学ぶことが出来たり、スペイン語なまりの英語を実際に聞くこともできて、自分の英語に自信をもって話すことができるようになったと思います。

授業の内容としては、2 度クラスメイトの前でプレゼンをする機会がありました。1 度目は授業の一環で美術館に行き、興味を持ったことや他者に知ってほしいことをプレゼンするというもので、2 度目は先生が選んだテーマのうち 1 つをピックアップしてそれに関することを自分でリサーチして発表するというものでした。大勢の前で発表をする前に、小さなグループで英語を話すという機会も十分にあり、それほど負担にはなりません。また、津田塾大学の Academic Writing & Presentation の授業で身に着けた力を発揮できた良い機会でした。それに加えてグループプロジェクトの作成もあり、常に机が向き合ってクラスメイト同士の距離が近い状態なので、他のクラスメイトと積極的に関わることが出来ました。

②放課後等の課外活動の感想

大学のプログラムが少し短かったため、クラブのようなものには私たちは入ることができませんでした。ですが、大学には自学自習ができるようにレベル別の本やプリントが多く用意されており、英語の本を借りてコロンビア人の友達と感想を共有したりしました。ライティングやリーディングだけでなく、リスニング、スピーキングの 4 技能すべてを伸ばせるような環境が整っており、家に帰らずに課題をやり終えたり、自主学習でプリントを解き進めるなどして、課外学習を行いました。

③滞在先の感想を含め、異文化での生活についての感想

私は15歳の男の子と両親の3人家族に迎え入れてもらいました。お父さんがディーキン大学の教授だったので、大学で会うことが出来たりして、出会えた時は実の父親に会ったかのように思えてすごく安心しました。自分の部屋と風呂場には鍵が付いていて、夜は鍵を閉めて寝るようにしていました。また、防犯上不安だったので部屋を離れる際は必ずスーツケースに荷物をまとめて鍵を掛けていました。ホームステイ先は本当に素敵な家族で、私の悩みを親身になって聞いてくれたり、様々な場所に連れて行ってくれました。長い時間を共有するホストファミリーと良い関係性を築くことができたことが、今回の留学の成功の鍵になったと感じています。ホストファミリーは今まで何人もの日本人を受け入れてきた経験があるので、英語が話せなくても聞こうとする姿勢を見せてくれました。また、「今まで受け入れてきたうちの中で一番英語が上手だわ」と褒めてくれました。分からないことは分からないと伝えたり、日本の文化や外国人に聞いてみたかったあれこれを聞いてみたりしたことで、自分の経験値が高まったような気がしています。

ホストファミリーには日本からのお土産を持っていきました。また、最後の日には一緒に撮った写真のアルバムと、ホストファミリーが日本旅行に興味を持っていたので、日本のガイドブックを作っていました。とても喜んでくれたので、作って良かったと思いました。

両親には、私にメッセージを書いてもらったり、私の優れている点を教えてもらったりもしました。それらは今でも私の財産になっています。

④今後参加される方へのメッセージやアドバイス

どのホストファミリーに当たるかは、運だと思います。他の参加者は、まともな食事を与えられずにホストファミリーの変更をされた方もいました。空港から直接ホームステイ先に送ってもらうのですが、住所が変更になっていて、送迎された先には他の人が住んでいたということもありました。なので、予想外のことが起きても冷静に対処する能力は必要だと思います。また、一人で悩まずに早めに他者に相談することも重要だと思います。ホストファミリーの変更もそうですが、クラスの変更も少し相談が遅くなってしまった結果、上のクラスが定員オーバーになってしまい、クラスの変更ができず合わないクラスで留学を終えたという方もいました。私は2日目に相談したのでさえも少し遅かったと後悔しました。この春期語学研修は期間がそれほど長くないので、思い立ったら即行動をお勧めします。

何かを失敗しても笑う人はいませんし、オーストラリアは多文化国家なので、様々な文化におおらかです。自信がやり遂げたいと思ったことを成し遂げるのに、他者の目は気にする必要が全くありません。自分らしくいていいんだと思わせてくれるはずです。有意義な時間を過ごせることを願っています。